

令和4年度吉川市下水道事業会計予算（案）概要

1 業務の予定量

区分	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度	30年度
水洗化世帯数(世帯)	25,619	25,204	24,789	24,325	23,881
年間総排水量(m ³)	6,993,435	6,937,800	6,498,385	6,318,274	5,846,845
1日平均排水量(m ³)	19,160	19,008	17,804	17,310	16,133

※平成30～令和2年度は確定値で、令和3年度及び4年度は令和4年3月時の見込みの数値です。

主な建設改良事業

(単位：千円)

区分	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
管渠事業	360,812	359,777	350,174	137,991
ポンプ場事業	255,379	158,403	60,265	216,111

※ R1～R2年度は決算の数値で、R3～R4年度は当初予算の数値です。

令和4年度の業務予定量は、

- (1) 水洗化世帯数は、25,619世帯で、前年度に比べ415世帯(1.65%)の増加を見込んでいます。
- (2) 年間総排水量は、6,993,435 m³で、前年度に比べ55,635 m³(0.80%)の増加を見込んでいます。
- (3) 1日平均配水量は、19,160 m³で、前年度に比べ152 m³(0.80%)の増加を見込んでいます。
- (4) 主な建設改良事業につきましては、管渠事業3億6,081万2千円で、前年度に比べ103万5千円(0.29%)増額しています。
また、ポンプ場事業は2億5,537万9千円で、前年度に比べ9,697万6千円(61.22%)増額しています。

2 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入

(単位：千円)

款	項	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
下水道事業収益		1,476,302	1,435,324	1,497,512	1,491,628
	営業収益	849,246	810,862	871,501	814,308
	営業外収益	627,056	624,462	625,985	621,315
	特別利益	0	0	26	56,005

※ R1～R2年度は決算の数値で、R3～R4年度は当初予算の数値です。

下水道事業収益は、前年度に比べ4,097万8千円(2.85%)増額となっています。

営業収益・・・前年度に比べ 3,838 万 4 千円 (4.73%) 増額

【下水道使用料】

下水道使用料は、6億 5,307 万 7 千円を見込んでおり、前年度に比べ 2,399 万円 (3.81%) の増額となっています。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計が負担するもので、1億 9,537 万 4 千円を見込んでおり、前年度に比べ 1,418 万円 (7.83%) 増額となっております。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担する分及び高久ポンプ場に接続されている県の水門の点検の経費について県が負担するもので、63 万 5 千円を見込んでおり、前年度と比べ 13 万 1 千円 (25.99%) 増額となっております。

【その他営業収益】

その他営業収益は、手数料及びコピー代の 16 万円を見込んでおり、前年度に比べて 8 万 3 千円 (107.79%) の増額となっております。

営業外収益・・・前年度に比べて 259 万 4 千円 (0.41%) 増額

営業外収益は、6億 2,705 万 6 千円を見込んでおり、主なものは長期前受金戻入になります。前年度に比べ 259 万 4 千円 (0.41%) 増額となっています。内訳は、他会計負担金が 231 万 6 千円減額、長期前受金戻入が 491 万円の増額となっております。

(2) 収益的支出

(単位：千円)

款	項	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R1 年度
下水道事業費用		1,423,175	1,395,441	1,364,593	1,363,779
	営業費用	1,349,562	1,311,953	1,266,490	1,243,532
	営業外費用	70,613	80,488	94,978	97,168
	特別損失	0	0	3,125	23,079
	予備費	3,000	3,000	0	0

※ R1～R2年度は決算の数値で、R3～R4年度は当初予算の数値です。

下水道事業費用は、前年度に比べ 2,773 万 4 千円 (1.99%) 増額となっています。

営業費用・・・前年度に比べ 3,760 万 9 千円 (2.87%) 増額

【管渠費】

管渠費は、3,014 万円を見込んでいます。前年度に比べて 461 万 8 千円の増額となっております。主なものとして、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料に 1,132 万 5 千円計上しております。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は、6,374万5千円を見込んでいます。前年度に比べて499万6千円の増額となっております。主なものとして、ポンプ場の施設管理に係る委託料に4,321万3千円計上しております。

【流域下水道費】

流域下水道費は、2億7,900万3千円を見込んでいます。前年度に比べて750万5千円の増額となっております。そのうち、汚水の処理場を有する県への負担金が2億7,643万3千円を占めています。

【受託事業費】

受託事業費は、43万5千円を見込んでいます。前年度に比べて12万9千円の増額となっております。松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

【業務費】

業務費は、下水道使用料徴収事務と排水設備に関する事務を内容としており、5,595万2千円を見込んでいます。前年度に比べて565万2千円の増額となります。主なものとして吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収委託料5,004万3千円を計上しております。

【総係費】

総係費は、下水道事業の管理事務を内容としており、3,778万円を見込んでいます。前年度に比べて22万5千円の減額となります。主なものとして、職員3名分の人件費のほか、一般会計への負担金617万9千円を計上しております。

【減価償却費】

減価償却費は、8億5,709万2千円を見込んでおります。前年度に比べて1,551万3千円の増額となります。

【資産減耗費】

資産減耗費は、2,541万5千円です。前年度に比べて57万9千円の減額となります。内容としては、吉川橋の架替えに伴う污水管の撤去工事費715万円と撤去される管の資産減耗分1,826万5千円です。

営業外費用・・・前年度に比べ987万5千円(△12.27%)減額

営業外費用は、7,061万3千円です。内容としては、支払利息及び企業債取扱諸費並びに納付する消費税及び地方消費税です。前年度に比べ987万5千円(△12.27%)減額となっています。内訳は、企業債等の支払利息が757万6千円、消費税及び地方消費税が229万9千円の減額となっております。

3 資本的収入及び支出

(1) 資本的収入

(単位：千円)

款	項	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
資本的収入		873,624	786,624	657,573	620,419
	企業債	619,100	515,700	386,800	363,200
	他会計出資金	77,433	81,397	86,053	86,313
	国庫補助金	162,360	175,140	169,951	155,400
	負担金	14,731	14,387	14,769	15,506

※ R1～R2年度は決算の数値で、R3～R4年度は当初予算の数値です。

資本的収入は、8億7362万4千円で、前年度に比べ8,700万円(11.06%)増額となっています。

企業債・・・前年度に比べ1億340万円(20.05%)増額

企業債は6億1,910万円を見込んでいます。

項目	R4年度	R3年度	増減
企業債	619,100	515,700	103,400
建設改良費等に充てるための企業債	420,000	310,200	109,800
流域下水道事業債	30,600	33,100	△2,500
資本費平準化債	168,500	172,400	△3,900

※資本費平準化債とは、固定資産の耐用年数と企業債の償還期間の差により生じる資金不足を解消する企業債

他会計出資金・・・前年度に比べ396万4千円(△4.87%)減額

他会計出資金は、7,743万3千円で、前年度に比べ396万4千円(△4.87%)減額となっています。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金について計上しています。

国庫補助金・・・前年度に比べ1,278万円(△7.30%)減額

国庫補助金は、1億6,236万円を見込んでおります。内容としては、吉川美南駅東口における污水管及び雨水管布設工事において、社会資本整備総合交付金と社会資本整備総合交付金(防災・安全)を活用(補助率1/2)し、汚水分として1億1,358万円、雨水分として4,878万円を計上しています。

負担金・・・前年度に比べ34万4千円(2.39%)増額

負担金は、1,473万1千円を見込んでおります。前年度に比べて34万4千円(2.39%)増額となっています。内容としては資本的支出に係る人件費について、長期前受金として一般会計が負担するものです。

(2) 資本的支出

(単位：千円)

款	項	R4年度	R3年度	R2年度	R1年度
資本的支出		1,121,763	1,014,713	915,054	879,429
	建設改良費	675,677	577,490	476,728	465,661
	企業債償還金	444,518	435,671	431,726	413,768
	固定資産購入費	1,568	1,552	6,600	0
	(補填額)	248,139	228,089	257,481	259,010

※ R1～R2年度は決算の数値で、R3～R4年度は当初予算の数値です。

資本的支出は、11億2,176万3千円で、前年度に比べ1億705万円(10.55%)増額となっています。

建設改良費・・・前年度に比べ9,818万7千円(17.00%)増額

建設改良費は、6億7,567万7千円で、前年度に比べ、9,818万7千円(17.00%)の増額となっています。これは、管渠費が103万5千円(0.29%)の増額、ポンプ場費が9,697万6千円(61.22%)の増額、流域下水道費が239万1千円(△7.21%)の減額、業務費が256万7千円(9.81%)の増額となっているためです。

(単位 千円)

項目	R4年度	R3年度	増減
建設改良費	675,677	577,490	98,187
管渠費	360,812	359,777	1,035
ポンプ場費	255,379	158,403	96,976
流域下水道費	30,751	33,142	△2,391
業務費	28,735	26,168	2,567

企業債償還金・・・前年度に比べ884万7千円(2.03%)増額

企業債償還金は、4億4,451万8千円で、前年度に比べ884万7千円(2.03%)の増額となっています。

(単位 千円)

項目	R4年度	R3年度	増減額
建設改良費に充てる企業債償還金	361,342	358,934	2,408
流域下水道事業債償還金	52,953	54,897	△1,944
資本平準化債償還金	30,223	21,840	8,383
合計	444,518	435,671	8,847

固定資産購入費・・・前年度に比べて1万6千円（1.03%）増額

固定資産購入費は、156万8千円で、前年度に比べて1万6千円（1.03%）の増額となります。内容としては、ポンプ場自家発電用蓄電池等の購入費となります。

【補填財源】・・・前年度と比べ2,005万円（8.79%）増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額で、2億4,813万9千円で、前年度に比べ2,005万円（8.79%）増加しています。

この不足額については、当年度分消費税資本的収支調整額4,402万9千円、過年度分損益勘定留保資金1億359万9千円、減債積立金1億51万1千円で補填します。

4 予定支出の各項の経費の金額の流用

公営企業運営の円滑化または経済性を十分発揮させるため、各項の間において、流用禁止項目以外のもので、予算執行上必要のある場合は、流用することができる経費を、営業費用、営業外費用、特別損失と定めるものです。

5 議会の議決を経なければ流用することのできない経費

公営企業は、予算が機動的な経営を拘束することのないように、「目」の予算については、管理者（下水道事業にあっては、管理者の事務を行う市長）において流用することができるものとされています。ただし、職員給与費については、他の費目とは異なり、予算の流用を制限するものです。

6 棚卸資産購入限度額

棚卸資産として、緊急の工事に使用する使用するマンホールの蓋を貯蔵品として保有していますが、年度内に購入する限度額を30万円とするものです。

7 主な事業

（1）清潔で快適な生活環境の確保

★ 水洗化率の向上 〔57千円〕

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、広報誌への記事の掲載、水洗便所改造資金の融資、水洗化促進戸別訪問及び通知を実施しています。

区 分	R3 年度	R2 年度	R1 年度	H30 年度	H29 年度
水 洗 化 率（％）	96.9	96.5	96.3	96.0	95.7

(2) 効率的な施設整備

★ 管渠建設改良事業 〔302,525 千円〕

- 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事
 - ・ 工事設計業務委託（汚水・雨水）
 - ・ 材料単価特別調査業務委託
 - ・ 排水管布設工事費（汚水）：2,071.0m
 - ・ 排水管布設工事費（雨水）： 159.5m
- マンホールポンプ設置工事

★ ポンプ場設備更新事業 〔240,579 千円〕

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、施設更新事業を実施します。

- ・ 吉川中央第一調整池 No.1 排水ポンプ改修工事
- ・ 高久雨水ポンプ場ポンプ改修工事
- ・ 東埼玉テクノポリス排水機場常時・洪水時ポンプ改修工事
- ・ 共保雨水ポンプ場機械設備工事（R4）
- ・ 吉川中央第二調整池 No.2 排水ポンプ更新工事など

★ 設備の適正な維持管理 〔44,919 千円〕

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等により設備の適正な維持管理を実施します。

- ・ 舗装補修に伴うマンホール補修工事
- ・ マンホール周辺舗装補修及び鉄蓋交換工事
- ・ 管渠内洗浄業務委託
- ・ 管渠内調査業務委託

(3) 効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であり、効率的な事業運営の推進に努めます。

★ 事務の効率化 〔4,205 千円〕

データの正確性、事務の効率化を推進していきます。

- 下水道台帳整備委託料及び資産管理台帳システム保守業務委託料
 - ・ 下水道台帳の電子化を行い事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行います。